

2 目標達成計画

事業所名： グループホーム 敬寿荘

作成日： 令和6年2月16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。
また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化した場合、入院や特養施設へ移る間際まで介護支援はしているが、介護職しかいない為、医療や死に対する知識不足もあり、「看取り」への不安が大きい。「死」に直面した時の職員の心構え、及び心のケアのための研修を行うことが課題である。	医療福祉複合施設の中にあり、多職種連携が継続的に可能である恵まれた環境を活かし、センター内の医療関係者に「看取り」に対する知識や心構えについて、話をして頂く機会を設ける。	ケアセンター総師長に相談した結果、時期を見て「看取り」についての勉強会を開催する予定。	6 か月
2	11	日頃から申し送りやカンファレンス等の場で意見を出してもらい、職員間で話し合った上でサービスに反映させたり、管理者と職員の個人面談を実施し、情報共有に努めコミュニケーションは取れているが、日々の業務に追われ、これからを担うリーダーの育成に割く時間が取れていないのが現状である。	職員の人数的なところで余裕があれば良いが、今すぐに人員を増やすのが難しい状況であることも理解している。法人に対し、増員の願いをしたうえで、職員が増えることを待つだけでなく、現状の中で出来る限りの時間を共有し、今やれることを実施していきたい。	日常の業務に加え、運営についても職員間で情報共有に努め、自分達がやるべきことを理解してもらっている。特にユニットリーダーには、管理業務についても情報共有しており、日々の関わりの中で人材育成に努めていきたい。	12 か月
3					か月
4					か月